

日吉台新聞

HIYOSHIDAI

発行

日吉台学区
まちづくり協議会発行責任者
林 堅太郎編集責任者
野々口 義信日吉台学区
個人情報保護方針
取り扱い文書

まちづくりカンパニーへ組織改編

6月定期総会で提案予定

まちづくり協議会

学区自治連合会の特別委員会「まちづくり協議会」は、令和2年度に地域の非営利団体「まちづくりカンパニー」として組織変更することを決め、準備を進めている。組織改編案は、学区自治連合会の承認を受け、今年6月のまちづくり協議会定期総会で協議会の廃止、「まちづくりカンパニー」設立案を提案、議決を経て正式発足をめざしている。

事業収入見込む新組織

まちづくり協議会は、平成25年度発足、日吉台をめぐるさまざまな課題に取り組んできた。学区の子どもの健やかな育成をめざす「☆マナ☆ビバ」や「あそびビバ」などの子育て支援事業。循環型社会をめざし、野菜など地域内の物販を進めるマルシェ事業。日吉台小卒業の音楽家や著名人を招いて児童らとふれ合い、語り合うようこそ先輩事業。「日吉台コンサート」といった、地域の人材、「文化資本」をみんなで共有し、享受する文化事業。全国でも珍しい学区レベルのメディアとしてすでに50号を超え

て親しまれている地域の情報紙、日吉台新聞発行事業、さらに現在、事業部門の立ち上げが計画されているスポーツ健康事業など。このように順調に事業展開を続けるまちづくり協議会だが、今回、自治連合会の一委員会であるという規定上の制約や予算制約を乗り越えて、

日吉台のまちづくりに向けた事業活動をさらに大胆に展開させるため、事業の担い手として会員を広く募り、一定の事業収入も見込む非営利型の地域組織として「日吉台まちづくりカンパニー」をスタートさせることになった。

「日吉台まちづくりカンパニー」という名称の「カンパニー(Company)」は、民間の会社、ましてや株式会社などの営利組織のことを指してはいない。「仲間、友だち、連れ」、「人の集まり、一団一行」、「同席すること、同行、付き合い」といっ

には持続可能なまちづくりが見えてくる、という方策だ。今後は無償ボランティアに限らず、有償型の仕事にも取り組むことになるという。

「まちづくりカンパニー」は、自治連合会の承認を経て、6月の正式発足後、新組織の会員募集などの準備作業を順次進め、活動を展開していくことになっている。

新会員を募集

「まちづくりカンパニー」は、持続可能な日吉台のまちづくりが、事業目的としてすでに50号を超え

の財政基盤を組織的に整え、財政基盤の拡充がさらなる事業発展につながる好循環を目ざす。そこ

ガレージの借り主募集

4西高橋川沿い住宅



学区空き家対策委員会は、学区内4丁目西の住民から申し入れがあった軒先ガレージの借り主を募集している。借り主を募集しているのは、4丁目西の日吉台診療所近くの高橋川沿いの住宅ガレ

ジ。ガレージの天井が低いのでハイルフ車の収納は無理だという。空き家対策委のガレージ斡旋事業では、同じ4丁目西地区の集会所近くの民家でも空きガレージがあり、こちらのガレージでも引

き続き、借り主を募っている。学区内では、マイカーを複数所有する世帯が増加しているが、学区の住宅地では1台しか駐車できない車庫が多い。最近複数のマイカーを所有す

る住民から学区空き家対策委に学区内で空きガレージを捜してほしいとの声が寄せられ、空き家対策委が、活動の一つとして、学区内の路上駐車を防ぐためにも、学区住民の戸建て住宅敷地内で使われなくなったガレージを車庫として使うあつせん事業を始めた。

駐車料金は有料。料金については、借り主、貸し手が協議して決めることになっており、空き家対策委が双方の協議にア

- 日吉台学区空き家対策委員会では住民の皆さんを対象とした住まいに関する相談窓口を設けた。
- 空き家所有者の方が家の維持管理に困られた場合は、「空き家見守り隊」がお手伝いします。

お問い合わせ

メール: hk110137@yahoo.co.jp
電話: 090-5053-5455
空き家対策委員会事務局: 濱崎 博



交流の場として定着

相次ぐ空き家視察で

空き家を資産と位置づけユニークな取り組みを進める日吉台学区の空き家対策事業。大規模開発住宅地として行われている学区の空き家対策の取り組みは、全国的にもユニークで先駆的。各地から日吉台へ視察が相次ぎ、視察会場で行われる意見

交換は、貴重なまちづくり交流の場となっている。空き家対策事業は、日吉台幼稚園の廃園問題をきっかけに、「若者が住みやすいまち」をめざし、空き家を資産として捉えた活動が始まった。空き家の実態調査に始まり、

所有者の依頼で、簡易な保全活動を行う空き家見守り隊の活動開始、まちづくり勉強会やフォーラムの開催、空きガレージの斡旋など、着実な活動を積み重ねてきた。

少子高齢化社会による独居老人、高齢化世帯の増加で空き家が増え、空き家増加は、全国各地で大きな社会問題となっている。このようななか、

日吉台学区が行う空き家対策事業は、学区自治連合会が扱うホームページで紹介していることもあって、同じ悩みもつ自治体の目にとまり、視察申し込みが相次ぐようになってきた。

視察は、2018年5月、石川県かほく市の油野和一郎市長ら同市の市町会、区町会一行45人

の来訪が最初。その後、長浜市連合自治会▽富山県射水市地域振興会連合会▽三重県松阪市自治連合会▽奈良県王寺町自治連合会▽和歌山県由良町区長会▽三重県津市自治連合会▽奈良県河合町総代・自治会長会▽兵庫県南あわじ市自治連合会と続いている。

視察では、濱崎博・学区空き家対策委事務局長が主に学区の空き家対策の取り組みを報告。報告後行われる意見交換会では、お互いの市やまちでの地域振興策の取り組みやまちづくりの課題など情報交換の場となり、今後のまちづくり活動に参考になる貴重な意見やユニークな取り組みが報告されている。

南あわじ市の視察団は、今年1月31日来訪。洲本市など1市4町が合併して南あわじ市として発足したさい、地区のコミュニティ活動の支援や交流拠点の場として市内21地区に「市民交流センター」を新たに開設。大津市では、市民センターの統廃合問題が大きな論議を呼んだが、同市の視察の意見交換では、市民センターの問題が話題になり、論議が盛り上がった。



日吉台を訪れ研修する南あわじ市の一行

第41回日吉ブロックPTA教育研修会

春の集会開催

健やかに子らの成長願

わが家のルールづくりで発表も

地域の子どもを、守り育てるために「春の集会」に第41回「春の集会」日吉ブロックPTA教育研修会（日吉学区PTA連合会、日吉コミュニティ・スクール、日吉学区教育総合推進会議主催）が2月15日、大津市雄琴の琵琶湖グランドホテルで開かれた。

この日吉ブロックPTA教育研修会は、地域の子どもたちによる発表や教育講演会などを実施しており、今回で41回目、日吉中学校校区の人推協役員、会員、各学区青少年育成学区民会議会員、PTA会員ら約400人が参加した。日吉中学校吹奏楽部の演奏、坂本小3、4年生有志による「よさこいソーラン」演奏によるアトラクションで開会、坂本小、下阪本小、雄琴小、日吉台小、日吉中、比叡山中の子どもたちによる「わが家のルールづくり」作品表彰、作品朗読のあと小林明子CAP（子どもへの暴力防止）滋賀代表による「一人ひとりの子どもを大切に」子どもの力を信じて、おとなにできること」の講演が行われた。



春の集会で、講演するCAP滋賀代表の小林明子さん



日吉中吹奏楽部による演奏で幕開けする春の集会

「安全で、仲の良い友がいる」

日吉台小「学校アンケート結果」

「安全に登校でき、学校には、仲のよい友だちがいる」日吉台小が児童を対象に昨年行った「学校評価アンケート」結果のまとめで、子どもたちがこんな評価をしていたことが分かった。同時に「地域と学校が連携して登下校の安全に努

めてい」と地域住民の安心、安全な小学校づくりに感謝する意見が数多く出されていた。「子どもたちのアンケート」では、「学校には仲のよい友だちがいる」「安全に登下校できている」と答えた児童が85%を占め、「友だちと力をあわせて活動できてい

る」との回答も多かった。また、「自分にはよいところがあるか」の問いには、「そう思う」「ほぼそう思う」を合わせる回答が5割を超えたが、「困っているときは先生に相談できる」という質問への子どもたちの肯定的な評価は低かった。学校として今後、先生と児

子どもたちの人権標語

日吉台小

2019年日吉台小学校人権標語クラス代表作品

標語	学年	名前
そのいじめ ほんとにやって いいのかな	1年	國松 あかり
ともだち おはよう いいきもち	1年	北海 光星
いじわる ごめんね いいきもち		
みんなで あそんで いいきもち		
せかいの みんなと いっしょに てをつなぐ	2年	渡邊 登亜
やさしいところは みんなを えがおにする	2年	吉田 彩乃
なかまをね おもう気持ちを大切に	3年	山本 夏子
友じょうで みんなのえ顔を まもりたい	3年	山田 紫月
みんなでね つないでみよう おもいやり	4年	杉本 寧音
泣かないで 一人じゃないよ ほくらがいるよ	4年	片山 碧
やめようよ 人とくらべるの よくないよ	5年	前川 嶺
ひとりじゃない 友達みんな 仲間だよ	5年	中村 仁太郎
やさしさは 人を笑顔に するんだよ	5年	木村 海透
あかるい言葉で あかるいクラス	6年	宮崎 夏希
あいさつで あいてもじぶんも いいきもち	6年	八田 京子

ボランティアで調理台工事



日吉台小の調理台をボランティアで工事をする岸本さん

3丁目西在住の岸本善春さんが、このほどボランティアで、日吉台小学校調理室にある調理台ガスコンロのカバーの収納不具合調整工事をおこなった。今年1月、夢・未来事

業推進委員会が行った「もちつき大会」で、同小家庭科室を使つたさい、調理台ガスコンロを覆うステンレス製のカバーの収納不良を岸本さんがみつつけ、修理を申し出た。同小家庭科室には、7

子ども食堂開店
3月28日
日吉台学区社会福祉協議会は3月28日正午、日吉台市民センター大会議室で、子ども食堂「ひよしだい」を開店する。子ども食堂は、食と居場所を提供するだけでなく日吉台に住む大人や子

どもみんなが楽しく集うふれあいの場づくりを目指している。メニューは、子どもたちはもちろん大人も大好きなカレーが提供される。参加費は子ども無料。大人200円。幼児は保護者の同伴が必要。アレルギーを持つ子どもについても、可能な限り保護者の同伴を求めている。

玄関灯・門灯 点灯にご協力ください！

- ・帰宅時も明るくて安心
- ・泥棒に狙われにくい街づくり



電気代は、LED電球（40W電球相当）の場合1か月60円程度、20W蛍光灯の場合1か月140円程度です。

子ども食堂はコロナウイルス感染症拡大防止のため中止になりました